

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2015年2月号(第2号)

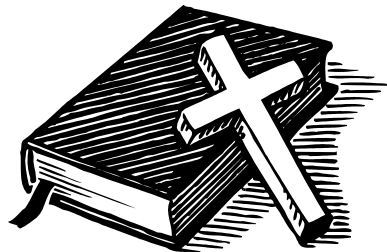
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

神は仰せられた。「光があれ。」

すると光があった。【創世記 1章3節】

私の知人に、長男が^{ひかる}光、次男に^{そら}大空という名前を付けた人がいました。初めて名前を聞いた時は気づかなかったのですが、1年以上たったある日、ふと気づきました。「あっ！この名前は、神様が創造した順番になってるんだ！」。これに気づいた時は、ちょっとした感動を覚えたものです。ですから、もし第三子が誕生したら、名前は^{かい}海か^{だいち}大地になるのでしょうか。

前回は、神が天地万物を創造したことを記しました。今回は、創造の方法と具体的な中味・順番について書いてみたいと思います。まず、神がどのように創造したのかと言いますと、それは「言葉」です。上に記してある聖書のことばには、「神は仰せられた」とあります。そして、

「光があれ」と神様が言葉を発すると、「光があった」のです。この後も、「神は仰せられた。・・・そのようになった」という記述が続きます。聖書の他の箇所には「信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り・・・」（ヘブル 11章3節）とあります。この世界は、偶然に、何か良い条件が重なり合って完成したのではありません。この地上を創造した神が存在し、その神の言葉によって、この地上は完成したと聖書は教えています。ですから、この世界は、創造者の目的に沿って造られ、何一つ意味のないものは存在しないということです。

次に、具体的な創造の中味・順番についてです。第一日目には、先ほど記しま

したように、「光」が造られ、光とやみが
区別されました。そして、昼と夜が出来
ます。第二日目には、「大空」（地球の大
気）が造られます。そして、第三日目
には、「地と海」が分けられ、「草や木」など
の植物が創造されます。第四日目には、
太陽、月、星などの天体が造られ、第五
日目には、海の生き物、鳥が造られます。そ
して、第六日目に、陸で生きる生き物が
造られ、人間以外の全ての物が創造され
てから最後に、人間が造られます。ここ
に神様の人間への配慮があります。全て
の準備を整えてから、人間を造ってくだ
さったのです。次回触れることになりま
すが、人間は他の動植物とは違い、特別
な存在として造られました。そして、神
様は第七日目に、創造のわざを休まれま
した。このことが「安息日」と呼ばれるも
のとながり、現代を生きる私たちが日
曜日休むことと関係してきます。ですか
ら、私たちの生活は、実は聖書の記述の
影響を少なからず受けているのです。

また、神様が創造を終えられてから、
聖書にはこのように記されています。「神
はお造りになったすべてのものを見られ
た。見よ。それは非常に良かった。」

創造された当時、「非常に良かった」と
あります。しかし、あることがきっかけ
で、その完璧さが破壊されることになり
ます。そのことについては、いつか触れ
ることになります。

今回は、創造の方法と創造の中味・順
番について触れました。次回は、「人間の
創造」に焦点をあてます。

◆コラム

冒頭で名前について触れました。実は、両
親がクリスチャンの場合、聖書の人物の名
前をとって、子どもの名前にすることがあ
ります。何を隠そう、私もその一人です。
聖書にアブラハムの子どもの、イサクとい
う人が登場しますが、そこからって「伊
作」となりました。私には姉が三人いま
すが、待望の男の子だったからでしょうか
（アブラハムはなかなか子ども与えられ
ず、イサクは待望の男の子でした）。その
他にも、パウロ、エリヤ、ルカ、ヨシヤ、
ヨセフ、カレブ、イザヤ、エノク、ルツ、
マリヤ、ハンナなど、色々な名前の方がい
ます。また、漢字にするかどうか、どの漢
字をあてるか等も親御さんの個性が出て
いて面白いものです。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～11:45
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈禱会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。